

多摩区在宅療養推進協議会 市民シンポジウム

家での「看取り」を考えるシンポジウムを開催します

～俳優・紺野美沙子さんも登壇～

川崎市では、誰もが住み慣れた地域や自らが望む場で安心して暮らし続けることができる地域の実現を目指し、「地域包括ケアシステム」の構築に取り組んでいます。厚生労働省の調査によると、国民の約6割が自宅で最期を迎えることを希望していますが、実際には病院で亡くなる方が約7割を占めています。そこで、多摩区在宅療養推進協議会では、自宅で最期を迎える、あるいは自宅で家族を看取るということを市民の皆様イメージしていただくために、家での看取りについて考えるシンポジウムを開催します。

1 日時 令和5年7月1日（土）14時00分～16時00分（開場13時30分）

2 場所 多摩市民館大ホール（川崎市多摩区登戸1775-1 多摩区総合庁舎2階）

3 定員 900名（当日先着順）

4 参加費 無料

5 内容 <第1部>トークライブ「老親を看取るということ～私たちの場合～」

出演：紺野美沙子氏（俳優・朗読座主宰）

山口容子氏（フリーアナウンサー・ボイスコンサルタント）

<第2部>パネルディスカッション「家での看取りを支える職種の紹介」

パネリスト：多摩区内のクリニック医師、訪問看護ステーション職員、

ケアマネジャー、地域包括支援センター職員及び病院職員

6 主催者 多摩区在宅療養推進協議会

※川崎市では、医療・介護関係団体で構成する「在宅療養推進協議会」を市と各区に設置し、多職種連携の強化や在宅療養者に対する一体的な支援体制の構築など、医療と介護の円滑な連携に向けた取組を協議しています。

問合せ先

（シンポジウムに関すること）

川崎市多摩区役所地域みまもり支援センター

高齢・障害課 荒木

電話 044-935-3186

（在宅療養推進協議会に関すること）

川崎市健康福祉局総合リハビリテーション推進センター

企画・連携推進課 野木

電話 044-223-6658

家での看取りを 考えよう

その人らしい最期を迎えるために



日時 **7月1日** 土
令和5年 **14:00 - 16:00** (開場13:30)

参加
無料

予約
不要

当日
先着順
900名

会場

多摩区総合庁舎 2階 大ホール

川崎市多摩区登戸1775-1



小田急線
向ヶ丘遊園駅 **北口** 徒歩 **5分**
駐車台数に限りがあるため公共交通機関でお越しください

第一部 トークライブ

テーマ
老親を看取るとのこと
～私たちの場合～



俳優・朗読座主宰
紺野 美沙子 氏

プロフィール

慶應義塾大学文学部卒。女優として活躍する傍ら、UNDP親善大使としても活動中。2010年秋から「紺野美沙子の朗読座」を主宰。NHKエフエム「音楽遊覧飛行」案内役を担当。元祖スー女としても知られ横綱審議委員である。



フリーアナウンサー・
ボイスコンサルタント

山口 容子 氏

プロフィール

慶応義塾大学卒業。元テレビ朝日アナウンサー。司会やナレーションの他、ボイスコンサルタントとして声を通した自己表現のパフォーマンスを上げるための指導を行っている。テレビ朝日アスク他で企業研修講師。病気をきっかけに「ストレスコーピングトレーナー」としても活動中。

第二部 パネルディスカッション

テーマ: 家での看取りを支える職種の紹介